

たすけ愛♡はしもとだより

第1号
平成29年5月

発行 橋本市社会福祉協議会 〒648-0072 橋本市東家1-3-1 TEL33-0294

高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けたい…。多くの人がそう願っているのではないのでしょうか。高齢化が進み、介護を必要とする方が増える一方で、それをささえる介護の担い手がなかなか増えない状況にあります。これからは、住民一人ひとりが助け合いのまちづくりをどのように進めていくか、共に考えていくことが大切になっていきます。

橋本市生活支援協議体が誕生しました!

去る、3月29日（水）橋本全体のことについて話し合う、「橋本市生活支援協議体（通称：たすけ愛♡はしもと）」を設置し第1回の協議体会議を行いました。約1年前から、市内9地区での懇談会や公益財団法人さわやか福祉財団の支援により、3回の勉強会やフォーラムの開催等、経過を踏



（写真）第1回協議体会議の様子。

まえて設置することができました。「たすけ愛♡はしもと」では、区長会代表、民生委員・児童委員代表、商工会代表など、地域で実際に活動されている方やさまざまな団体から委員として参加していただいています。地域の多様な生活課題をしっかりと把握しながら、どういった生活支援が必要なのか、また、その支援について高齢者が地域の中での担い手になるためには等、市の生活支援サービスの方向性について話し合っていきます。各委員を紹介します。（敬称略・順不同）

氏名	所属
乾 幸八	橋本市区長連合会代表
西山 嘉造	橋本市民生委員・児童委員協議会代表
北谷 善寛	介護支援専門員代表
岸田 昌章	ボランティア代表
堀川 憲一	橋本市シルバー人材センター代表
宮崎 卓郎	紀北川上農業協同組合代表
澤村 嘉津美	橋本市老人クラブ連合会代表
堀畑 佳久	橋本市介護保険施設連絡協議会代表
山本 直子	地区公民館代表
土井 千弓	橋本商工会議所代表
苅田 一郎	高野口町商工会代表
山本 光子	橋本市地域ふれあいサロン代表
柴田 千鶴	橋本市げんきらり～自主運営教室代表

生活支援コーディネーター（橋本市社会福祉協議会）望月亮司

事務局：橋本市役所いきいき長寿課、政策企画室

協議体としてまちづくりを推進

助け合いの仕組みづくりに向けて、これから話し合いを進めながら、いろんなアイデアを出し合っていきます！まずは、地域のことを知ることから！



なぜ助け合いが必要なのか？

- 国全体の人口が減っていきます。
- 75歳以上の方が増え、あわせて介護保険の認定者が増えていきます。
- その反対に介護職は慢性的に不足しており、現役世代の人口が減っていきます。
- 介護保険料も高騰していきます。



橋本市でも、在宅医療、介護保険施設やサービス等の体制の充実に頑張っています。しかし、限りもあるのが現実で、それだけでは安心できる生活の確保は、今後、難しくなってきます。

そこで、介護職の方には身体介護（入浴介助・おむつ交換等）が必要な方のケアに専念してもらって、買い物や掃除などのちょっとした生活支援は、住民同士の助け合いによって、地域の中で見守っていこうという方針に転換していくことが、全国的に求められています。

介護保険制度の改正がありました

平成27年に、介護予防は「介護予備軍」だけでなく「すべての高齢者（65歳以上）」が対象となりました。目的は「要介護にならないための心身機能向上」から「社会参加の推進により地域で最後まで暮らすための生活支援」。そのためには元気なときから日常的に「地域の中の支え手」として役割を持つ生活が「介護予防」になり、支えられた方も「助けてもらってありがたい！元気でいよう」と、お互いが元気に。



今後どうしていけばいいの？

まずは地域で、自分たちの地域の助け合いのまちづくりを話し合う場をつくることから始めましょう。



この話し合いの場には、地域の様々な人や団体福祉関係者等の多様な方がメンバーとして入ります。話し合う場では、次のようなことを主に話し合います。



○地域の課題確認

○課題解決策の計画

○地域づくり活動を実際に行ってみる

たくさんの課題があっても、一つ一つ解決していき、それを積み重ねていきましょう。

この話し合いの場を「協議体」と呼んでいます。

7月8日（土）フォーラム開催します！

市民のみなさんに助け合いの重要性や協議体の目的及び活動をよりご理解いただけるよう、7月8日（土）午後（予定）に「みんなで作る支え合いの地域づくりフォーラム（仮称）」を開催します。

このフォーラムでは全国で絆のある地域づくりを推進されている、公益財団法人さわやか福祉財団の堀田 力会長（元東京地検特捜部検事としてロッキード事件を担当）の講演の他、地域で助け合い活動をしている方等とのパネルディスカッションを行う予定です。詳細は次号でお知らせします。